

忘年山行2日目 初冬の落ち葉を踏みしめて

☆日時 2019年 12月 1日(日)

☆参加者 五名

☆行程 吾野駅 9:20 — 顔振峠 10:30 — 越上山 11:15 — ユガテ 13:15 — 北向地蔵 13:55 — 武蔵横手駅 15:00

忘年山行2日目。自分以外の皆さんは昨日の山行に引き続き2日目の山行であるが、気力・体力共に充実しており、元気な様子で吾野駅に降り立った。絶好の奥武蔵山行日和である。早速、吾野宿の趣のある通りを過ぎ、顔振峠への登山口にとりついた。台風の影響で荒れた登山道を町の人々がいたところで整備している。お陰で登山道は全く危険がなく、歩きやすい。所々、黄色く色づく広葉樹と直立する杉林の中をペースよく登る。キリッとした空気の中を、落ち葉を踏みしめながら登るのは心地よい。1時間ほどすると、峠間近の眺望の良い場所に着いた。昨日の山行で登ったであろう秩父の山々、奥多摩・奥武蔵の山々が重なり合って、山際までよく見える。青空とグレーの濃淡がよく調和していて美しい。しばし眺めた後すぐに、顔振峠に到着した。银杏の黄色が陽に映えて、今を盛りと輝いている。さらに、遠くまで見渡せる眺望を楽しんだ。

次に向かうのは、今日のコースの最高峰「越上山」。越上山までは高低差があまりなく、歩きやすい登山道を進む。頂上付近のみ少し岩稜帯であるが、残念ながら、頂上は樹林に囲まれ眺望はきかない。すぐに分岐まで下り、次の目的地、ユガテを目指した。ユガテまではやや上り下りが続き、途中の眺望のよい稜線で昼食をとる。前方には奥秩父の山並み、東には雲の上から頭を覗かせる真っ白な富士山。柔らかい陽ざしを浴びながら、晩秋から初冬への移り変わりを味わった。

美しい山里として有名なユガテでは、もうすでにほとんどの木々が葉を落とし寒々しい景色が広がっていたが、真っ赤なもみじだけが際立って見えた。そして、最後の登りをひとがんばりして北向地蔵に着いたころは早い夕暮れが迫りつつあるのが感じられ、下山を急ぎ1時間ほどで武蔵横手駅に無事到着した。

よいメンバーに恵まれてとても楽しい1日となった。下見のため独りで歩いた時と違い、今日はなんと時間の流れが短く感じたことか！ メンバーの皆様、一日ありがとうございました。!!

